



8 月 30 日（日）世代間交流事業「地引網体験」

今年度の世代間交流事業は、8 月 30 日（日）、**岩美町大羽尾海岸**で「地引網体験」を行いました。

当日早朝 6 時には修立のあちこちから、「ごっついサカナ・大漁」を期待して、老若男女 50 人の猛者（もさ）たちが集まりました。

公民館を出発して 40 分、大羽尾海岸に到着すると早速、約 1m の波間を漂うサーファーの黒い影をかき分けて、漁船から網が投入されました。いよいよ地引網が始まります。



修立の猛者たちは、二手に分かれて網を引き始めました。しかし、これが中々大変でした。ごっつい重いのです。途中汗が滝のように流れ、掛け声が途切れるほどキツイ有酸素運動でした。

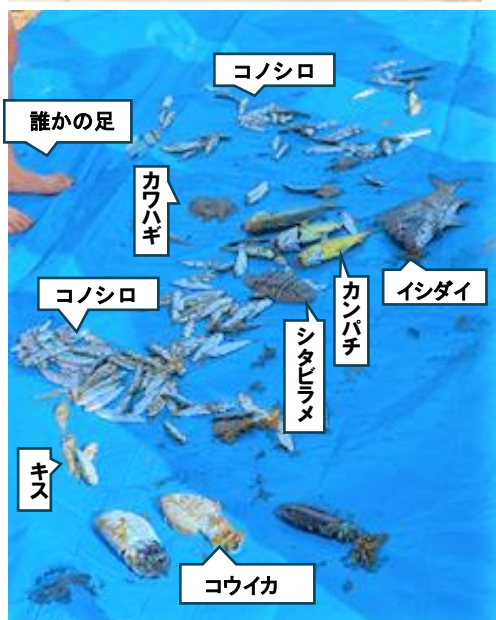
それでも猛者たちみんなが力を合わせて網を引くこと 40 分、ようやく網を引きあげる（7 種類 160 匹が獲れる）ことができました。いやー！めっちゃしんどかったけど、めっちゃおもしろかったですワ!!!!



コノシロを持っている

公民館に帰着後、美味しい朝ごはん（おにぎり＋みそ汁）と獲ったばかりのイシダイとコウイカの刺身にコノシロの天ぷらの味は、サイコー！！！！でした。

そして、朝食後の「参加賞争奪大ジャンケン大会」では、家族・グループで団結して大いに盛り上がり、とってもとっても大満足の 1 日になりました。



とれた魚

参加者の皆さん、ご参加いただきありがとうございました。そして、スタッフの皆さん、漁協の皆さんご苦労様でした。また良き思い出を作りましょう。

第2回修立こどもエコクラブ

「修立の川のきれいさくらべ」学習の流れ

1 はじめのあいさつ

2 学習の流れ説明

- (1) 「川はきれい？それとも汚れている？」
→ 川レンジャー隊結成
- (2) 川の水採取場所の確認
①広徳寺 ②一本橋 ③東雲橋
④吉澤歯科 ⑤袋川
- (3) 川レンジャー隊 採取出発！
- (4) 全員帰着→試薬配布・やり方説明
- (5) 家庭の排水調査
(水槽の水、とぎ汁、みそ汁、洗剤で洗った水)
- (6) 分かったことまとめ

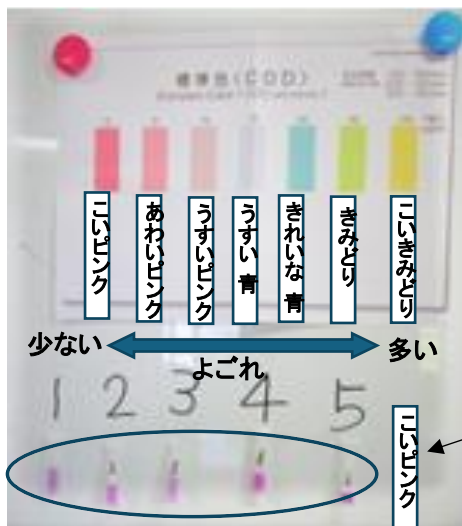
3 これからの予定

今年のエコクラブの活動のテーマは「水」です。
今回は、「修立の川のきれいさくらべ」を学習しました。

最初に、「修立の川はきれいかどうか」を聞きました。この質問には、メンバー(子供)にもサポーター(大人)にも答えてもらいました。するとどうでしょう。きれい…**11人** 汚れている…**11人** と同数の結果になりました。これはもう、実際に川に行って水をくみ、どうかにかして調べてみなくてはなりません。

そこで、まず校区内の5つの場所の川の水をとってきました。

東高の東雲橋から天神川の水を



次に川の水がきれいかどうかを調べるために、「パックテスト」という道具を使いました。試薬の入った容器に、採ってきた川の水を入れ振ってみると「アラ不思議」、水の色が一瞬にして変わるではありませんか。その様子を見て、メンバーもサポーターも大喜び。口々に「透明だった川の水が、**きれいなピンク**に変わったぞー！」「へーえ！スゴイ！」などと、驚きの声を上げていました。

結果(大変見にくいのですが)、1～5のどの場所の川の水も、「**とてもきれい**」を示す**濃いピンク色**でした。事務局の思惑では、「川の下流の水は、上流より家庭排水が多くなるため、若干汚れている」と思っていました。しかし、残念ながら、前日の雨の影響かどうか、「**修立**

の川は、どこもきれいな川」という結果が出ました。(思った以上にきれいでした。よかった、よかった。)

次に、家庭排水は、どれだけ汚れているかを「パックテスト」してみました。するとどうでしょう。「洗剤の水」はわりと汚れているのはわかりますが、それ以上に「米のとぎ汁」や「みそ汁」の方がもっと汚れ(汚れているというより、色々な材料が混じっている)ていることに、皆が驚いていました。汚れを薄めるためには、大量の水が必要になるわけです。



<感想>

- ◆家でもすぐに流すのではなく、しっかり紙などでよごれをふき取ってからしよりたいです。(小3)
- ◆川の水が思っているよりきれいで安心しました。検査キット、家でも欲しくなりました。(大人)
- ◆修立の川のきれいさがわかりました。あげものの油をのこしてせっけんをつくりたいです。(小2)
- ◆排水を汚さない工夫をしていきたいと思いました。(大人)